



1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	市営尾張屋橋住宅(仮称)建替工事	階数	地上6F		
建設地	西区西平沼町7番4号	構造	RC造		
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	75 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年10月6日		
敷地面積	1,268 m ²	作成者	日生建築計画研究所		
建築面積	518 m ²	確認日	2023年10月6日		
延床面積	2,435 m ²	確認者	日生建築計画研究所		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1 **LR のスコア = 3.6**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

音環境	2.4
温熱環境	4.2
光・視環境	3.8
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	2.2
耐用性	2.9
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	4.2
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱等級5で省エネルギー性能に配慮した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	内装材はF☆☆☆☆を使用し、室内の空気質環境に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 児童遊園にシンボルツリーを配置し自然と身近に愉しめる環境を整備するとともに、西横浜駅ホームからも見渡せる位置を緑化することで、地域住民も愉しめるように配慮した。
LR1 エネルギー	断熱等級5で省エネルギー性能に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を69%に削減し、ヒートアイランド対策につとめた
Q2 サービス性能	防災備蓄品等が収納できるスペースが確保し、災害時に使用可能に配慮した。 劣化等級3で、建物の耐久性・信頼性に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	躯体材料以外にリサイクル材を多用し、省資源化に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **市営尾張屋橋住宅(仮称)建替工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **36** %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2023年10月30日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①断熱等級5
- ③LED照明を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰住宅性能 劣化等級3

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
市営尾張屋橋住宅(仮称)建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-		3.1	
Q1 室内環境					0.40				3.7	
1 音環境				3.0	0.15	2.3	1.00		2.4	
1.1 騒音				3.0	0.50	1.0	0.50	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-	-	-	
2 温熱環境				2.0	0.35	5.0	1.00		4.2	
2.1 室温制御				3.0	0.50	5.0	1.00	-	-	
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-	-	-	
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	5.0	1.00	-	-	
2.1.3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-	-	
3 光・視環境				3.3	0.25	4.0	1.00		3.8	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.50		-	
3.1.1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.50	-	-	
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-	-	
3.1.3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.50		-	
3.2.1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-	-	
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-	-	
4 空気質環境				3.2	0.25	3.6	1.00		3.5	
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		-	
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気				2.0	0.40	3.0	0.38		-	
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-	-	
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.50	1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.6	
1 機能性				2.4	0.40	2.2	1.00		2.2	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		-	
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	1.0	0.40		-	
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	1.0	0.50	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-	-	
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-		2.9	
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-	
2.1.1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		-	
2.4.1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00		3.0	
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50		-	
3.1.1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60		-	
3.1.2 空間の形状・自由さ				3.0	-	3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50		-	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		-	
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 5-085



CASBEE横浜2022年版v.1.1
市営尾張屋橋住宅(仮称)建替工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			2.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-			3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.2
1 地球温暖化への配慮				4.2	0.33	-	-			4.2
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-			2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				4.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-			-
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-			-